

令和4年度活動方針と活動概要

会長所信

はじめに

私たちは近年経験したことのないコロナ禍という疫病災害に見舞われました。このことは人と接することを否定し、集うことや交流することに違和感と嫌悪を感じ、親睦目的の飲食を伴う集まりなど批判の対象となる風潮すら生み出しました。

私たち PTA も学校が休校になったことを皮切りに、活動を止めざるを得なかった状況になり、あれから3年目になりました。

歴史を見ると100年周期にパンデミックが起こり猛威を振るうも、それらは3年で収束しているようです。そして3年目となる今年度、アクセルを踏みながらブレーキを踏んでいるような状態からやっと解放されそうな気がします。

コロナ禍で学んだこと

PTA の活動はコロナ禍により今までとは違う新しい考え方や行動を要求されました。何を変え何を守るかの判断をしなければならないとき、その目的は何なのかを今一度見つめ直すことが必要であると学びました。

どのように状況が変化しようと、どのような事態に見舞われようと、PTA の目的は変わりません。しかし、状況や時代の変化に対応し、その目的を達成するために必要とされる最善の手段方法を模索する努力を怠ってはならないと思います。

やってきたこと

私が茨木市 PTA 協議会会長を拝命したのは、コロナ禍が始まった令和2年度です。

厳しい行動規制がかかったこの年、活動しないことが正当ともされるなか、PTA のあり方を見直す材料ともなる基本マニュアルの冊子制作を2年間のプロジェクトで開始しました。また、活動を止めない工夫として NTT 西日本との協力を得て、チャットシステム”elgana”の活用や ZOOM を使ったオンライン会議の導入など ICT を取り入れたオンラインで集う PTA と、YouTube ライブを使った在宅で参加する講演会を実現しました。

そしてコロナ禍による行動規制が幾分か緩和された令和3年度からは、コロナ対策のみならず距離と場所の制約を受けないオンライン参加のメリットと、同じ空間時間を共有できるリアル参加のメリットの両方を活かしたハイブリット会議を標準化させました。さらに茨木市教育委員会との協働体制を強化し、茨木市 PTA 大会もオミクロン株が猛威を振るう中に、オンラインのみに開催形態をシフトし ICT のメリットを活かしたさまざまな工夫を凝らし開催いたしました。

そして毎年度末に、年間の主な活動内容を広報紙「しい〜ぴい〜通信」を通して会員の皆様に報告させていただきました。

今年度の挑戦

今年度はコロナ禍による行動規制が大きく緩和されることが期待されます。しかし、全てをコロナ禍前の状態に戻すことは現実的に不可能だと思います。そこで、これまで取り組んできた ICT を使った作業の省力化と利便性の更なる充実に加え、コロナ禍により置き去りにされてきた、人が集うことによって生まれる心の交流や一体感、充実感といったものも感じることができるバランスの取れた PTA 活動が大切であると考えます。

そこで、私は今年度のスローガンに「シームレス PTA」を掲げさせていただきました。

シームレスとは、“繋ぎ目がない”という本来の意味から“もともと個別のモノやサービスが繋ぎ目を感じさせないほどの一貫性のある連携がなされている状態”という意味で使われます。そこで今年度は各学校園 PTA とシームレスな関係づくりをめざして、さまざまな取り組み行ってまいります。

オンラインとリアルとのハイブリット方式からシームレス方式への意識転換。コミュニケーションツールの活用と工夫。茨木市教育委員会をはじめとする協働団体とのシームレスな関係づくり。人が変わってもシームレスに活用していけるように、蓄積してきたデータの標準化への着手などを主な挑戦課題として活動することを表明いたします。

終わりに

私たち茨木市 PTA 協議会は略して市 P と呼ばれます。これに対して各学校園 PTA は単位 PTA 略して単 P と呼ばれます。しかし私はこの単位 PTA (単 P) という呼称が好きではありません。それは各 PTA が集まって構成されているはずの茨木市 PTA 協議会 (市 P) や大阪府 PTA 協議会 (府 P) などの連合 PTA (連 P) 側から見た呼称に聞こえるからです。各 PTA はそれぞれ独立した団体であり、市 P などの連 P はそれぞれを指導監督するような上位団体ではありません。むしろその逆で、連 P は各 PTA が発展的に活動するためのサポートを担うことを目的とする団体だと思っています。会員の皆様からお預かりした会費と、付託された 1 年という時間を決して無駄に使うことなく、今年度掲げた目標の達成と皆さんの各 PTA 活動に少しでもインスピレーションを感じてもらえるような活動をめざし、精一杯取り組んでまいります。

以上

令和 4 年 5 月 吉日
令和 4 年度茨木市 PTA 協議会
会 長 阪 和 也